



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	シンポジウム 「人間の尊厳」と身体・生命の論理的法的位置づけ（2・完）－先端医療技術の提起する諸問題を中心として－
Citation	北大法学論集, 55(2), 133-133
Issue Date	2004-07-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/15286
Type	departmental bulletin paper
File Information	55(2)_p133-133.pdf



「人間の尊厳」と身体・生命の倫理的法的位置づけ(二・完)

——先端医療技術の提起する諸問題を中心として——

「人倫研」プロジェクト

はじめに

憲法学の視点から——二つの「人間の尊厳」論と憲法理論

刑事法学の視点から——人体・ヒト組織・ヒト由来物質の利用と刑事規制をめぐる序論的考察

(以上、第五四卷第六号)

民事法学の視点から——「研究ノート」民事法的観点から見た人間の身体・生命と先端生命科学・技術

国際人権法学の視点から——生命科学の発展と人間の尊厳および人権

東海林邦彦

青柳 幸一

甲斐 克則

東海林邦彦

位田 隆一

(以上、本号)